

町のうごき

本籍数	6,037
本籍人口	18,003
世帯数	5,151 (5,141)
住民登録人口	18,509 (18,498)
内訳	
男	9,066
女	9,443

10月1日現在
()内は9月1日現在

広報 てんのう

No.255

昭和58年

11月1日発行

発行・秋田県天王町役場 ☎(0188) 78-2211~4
編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 ☎(0188) 23-7477~8

八郎湖の明日を みつめて



大漁を願い力強く網を引く

シラウオ漁が終了

湖岸地区一帯にエンジン音を響かせていたシラウオ漁船・船引漁業が、十月いっぱいまで終了した。

九月十日に解禁となったこのシラウオ漁は、任意組合が組織されており、操業時間などを規制している。

出漁時刻になると赤い旗が振られ、それを合図に数十隻もの漁船が一斉に船出。

漁場に着くやいなや勢いよく網が投げ入れられ、網で結ばれた二隻の漁船がゆっくりと湖面を旋回する。

今年の水揚げ量は、例年に比べやや下回ったとのこと。

組合長の桜庭庄金さんは、「先の五月に起きた地震の影響で湖の高低が変わってしまいベテラン漁師でも網をひっかけるなどして早々と引きあげていく光景が目だった。組合員は、これからワカサギの建て網漁や刺し網漁にきりかえて漁を続けていく」と語っていた。

あなたの健康意識は何パーセント?

ガン死因順位の トップに

「ガン」が脳卒中を抜いて1位に——昭和57年にガンで亡くなった人は、秋田県で2,296人と脳卒中による死亡者数を55人上回り（県衛生統計調）死因順位のトップとなった。

天王町の死因順位でも、ここ数年ガンが第1位を占めている。

57年の全死亡者数93人のうち30人がガンで亡くなっており、「ガンによる死者」の割合は、32.2パーセント。3人にひとりにはガンが原因ということになる。

町では、みなさんの健康管理をねらいに各種の検診を実施している。

健康で明るい暮らしは、万民の願い。

適切な予防と早期発見に心がける健康への気くばりを今一歩進めて、ガン予防に町民一丸となって取り組んでいきたい。



死亡者の七割が 成人病

本町は、成人病で亡くなる人が年々多くなってきている。五十七年の全死亡者数九十三人のうち六十九人までが、成人病三大死因といわれるガン、脳卒中、心臓病によるもの。その割合は、七四・一%を占めている。

ここに、脳卒中は予防可能となった。しかしガンは、以前として、これといった決め手のないままに、死亡者は増加の一途をたどっている。

また、その死亡者の多くが四十代、五十代の働き盛りに多い。

五年間で 百三十四人が「ガン死」

成人病の中でも、死因の第一位はガンである。五十三年から五十七年までの過去五年間をみても、かつて県民病といわれた脳卒中を上回っている。

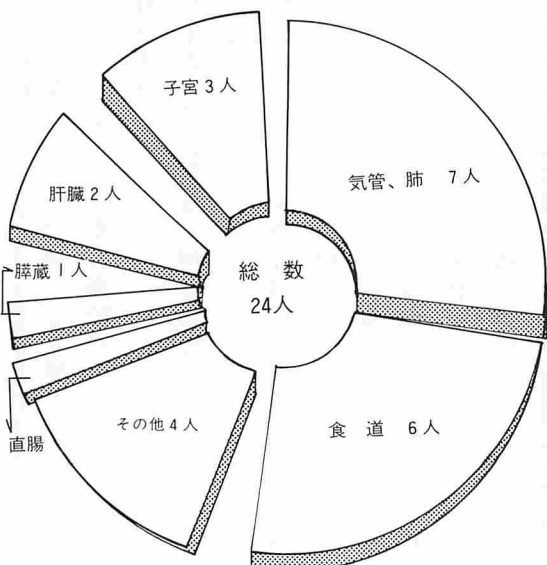
この五年間のうちガンで亡くなった人は、合わせて百三十四人にのぼる。年間平均二十六・八人のペースである。国・県と比較した場合にも五十五年は、指数一七八・九（人口十万人当たり）を示し県平均をも上回っている。ガンで亡くなる人がいかに多いかを如実に物語っている。

今後 多くなる

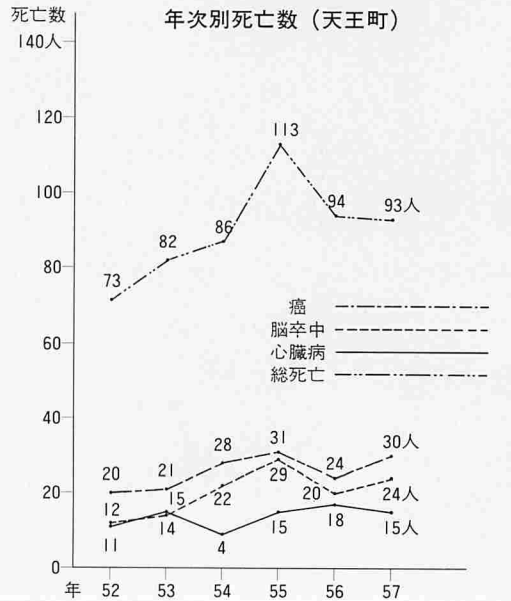
呼吸器系のガン

部位別にみた場合、日本人のガンは、圧倒的に胃ガンが多い。

部位別ガン死亡数 昭和56年



年次別死亡数 (天王町)



本町も例外でなく、五十五年のガン死亡者数全体に占める胃ガンの割合は、三十一人中十人中で三二・二%である。

一方これから増えると思われるのは、呼吸器系のガンで五十六年に、気管、肺ガンで亡くなった人は七人。この年のガンによる全死亡者数二十四人に対する割合では、二九・一%となっている。

女性の場合、胃ガンについて多いのが子宮ガンである。三十三歳ごろから子宮ガンにかかる率が高くなっている。

低い検診率

こうしたことから、町では住民の健康管理をねらいに、毎年各種の集団定期検診を実施している。

早期発見、早期治療を鉄則に

早期発見、早期治療を鉄則に

しかし、「忙がしい」「忘れていた」などの理由で、全く検診を受けない人の家庭から「もっと早く発見していたら、もっと早く病院にいったら」という悔やみの声が多い。

五十七年のガン検診の中で胃検診の対象者二千九百二人（40歳～64歳）のうち五百二十九人が検診を受け、一八、二%の受診率。また子宮ガン検診を受けた人は対象者二千五百五人（30歳～64歳）のうち三百六十三人で、一七、二%の受診率とどちらも一〇%台である。

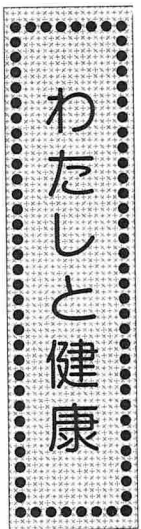
町で行う集団検診を受けないで、直接病院に行く人や職場で検診を受けている人を加えると実際の受診率は、もう少し上がる。

地区保健会や愛育班の呼びかけで、子宮ガン検診の受診率が、今年急激に伸びた。現代の進歩した医学をもっとしても解明されない「ガン」しかし、早期ガンは手術で

百%に近い確率で治るともいわれている。今、私たちにできることは、早期発見、早期治療に努め、年一回必ず定期的に検診を受けることである。

「自らの健康は自らの手で」を合言葉に、今一歩健康への

気くばりを進めていこうではありませんか。



検診は転ばぬ先の杖

出戸新町 馬場恵子

十年来の友人がわずらって三年、薄紫の藤の花がゆれる頃逝ってしまった。癌であるある日、胃検診のお知らせがきた。早速彼女を誘ったところ、検診車はいやだと言っ

てきかなかった。それから翌年の検診車を待たずに入退院を繰り返す状態になってしまった。帰らぬ人と思いつつ、あの時もっと強く誘えばよかったと悔やまれてならない。

九死に一生を得る大病を経験している私は、健康であることのありがたさを痛感している。

現在主人は老人クラブ、私には頑張っていけそうに思う。



「自分の健康は自分で守る」という姿勢が大切。夏から秋にかけて各種検診車が足元まで来てくれるので、これを転ばぬ先の杖としたい。年々私は自分に欲張りになった。健康と共に体力も維持したい。今年には自分の体力をはかるべく、太平山登山を試みた。千メートル級の山は初めてなので、主人に同行を求め友だちと三人でかけた。びっしょりの汗を頂上で、すがすがしい思いで拭いた。これも健康であることの証と

あんなに元気がだった父が...

羽立根 知宏

去年の九月の終り頃、父が入院した。別にこれといった悪い所は

なかったのだが、検査の結果一度入院した方が良いとのこと。

入院、手術という経過をたどった父は、その時すでに癌にむしばまれていた。

当然父は知らなかったのだが、医師の話によると半年ぐらいだろうということであった。

発見が遅すぎたのだ。

人間誰しも不死身ではないのだから病気になるものであるが、発見の早いか遅いかによって生命にかかわる病

気が多くある。特に父の場合日頃病氣らしいものは何ひとつしたことがなかったため、各種の検診の知らせがきても受けたことがなかったようである。虫の知らせかたまたま受けた検診結果が命とりになるとは皮肉であった。

しかも、各臓器の外側に出たため、なおさら発見できなかったのだ。

つまり人間の体の中は、まだ完全に見ることはできないのである。

いつの間にか、癌が死亡率第一位を占めるようになり、文明が生み出した一番の弊害となっている。だからこそ、早期発見、早期治療が必要なのである。

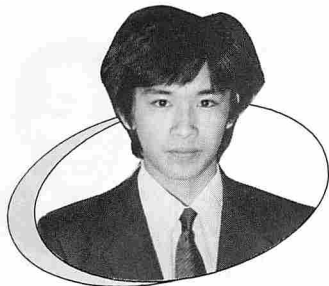
健康を維持するために、私たちは今、何をすべきかを考える必要がある。

昭和57年度ガン検診状況

(秋田保健所管内)

種類別	胃 ガ ン 検 診				
	対象者 40歳～ 64歳	受診者	受診率	検 診 結 果	
				要精検	正 常
総 数	35,766 人	8,311 人	23.2 %	1,690 人	6,621 人
天王町	2,902	529	18.2	129	400

種類別	子 宮 ガ ン 検 診				
	対象者 30歳～ 64歳	受診者	受診率	検 診 結 果	
				要精検	正 常
総 数	27,722 人	5,747 人	20.7 %	50 人	5,697 人
天王町	2,105	363	17.2	7	356



Advertisement for cancer screening with text and portraits of individuals.

表彰者功労者に町3月11日



晴れの受章に
桜庭氏ら六氏

町では、町制施行記念の十一月三日、町公民館を会場に昭和五十八年度町功労者の表彰を行います。
このたび、功労章が贈られるのは、桜庭周光氏ら六氏の方々です。
永年にわたり、行政全般に尽力し、今日の町発展に寄与された功績を讃えるものです。

功労章



桜庭 周光氏 (55)



薄田 国三郎氏 (56)

同氏は、昭和四十六年に町議会議員に当選して以来、永年にわたって、本町の行政発展に寄与されたものです。
昭和五十年に土木委員長、昭和五十二年には、文教社会委員長を歴任しています。

○住 所

天王町天王字塩口105

○生年月日

昭和三年十月二十四日



三浦 兼吉氏 (69)

同氏は、昭和四十六年に町議会議員に当選して以来、永年にわたって本町の行政発展に寄与されたものです。
昭和四十六年から昭和五十四年までの八年間、監査委員を務め、昭和五十四年には文教社会委員長を歴任しています。

○住 所

天王町天王字上江川47-502

○生年月日

大正二年十一月二十四日



佐々木 吉男氏 (55)

同氏は、昭和四十六年に町議会議員に当選して以来、町議会議員として現在四期目に至っており、永年にわたって町行政の発展に寄与されたものです。
昭和五十六年に総務委員長、昭和五十八年からは、文教社会委員長を歴任しています。

○住 所

天王町天王字下出戸113

○生年月日

昭和三年八月二十四日



児玉 長栄氏 (49)

同氏は、昭和四十二年に町議会議員に当選して以来、永年にわたって町行政の発展に寄与され、町議会議員として現在四期目に至っているものです。
昭和四十四年に文教社会副委員長、昭和五十四年には産業経済委員長を歴任しています。

○住 所

天王町天王字児玉36

○生年月日

昭和九年八月二十六日



安田 慶悦氏 (46)

同氏は、昭和四十六年に町議会議員に当選して以来、町議会議員として現在四期目に至っており、永年にわたって町行政の発展に寄与されたものです。
昭和五十年に土木副委員長、昭和五十二年には、産業経済委員長を歴任しています。

○住 所

天王町天王字羽立184

○生年月日

昭和十二年四月二十八日



新校舎正面玄関前での卒業記念撮影 (沼田貞男氏提出)

郷土史コーナー [133]

学校教育の沿革 ⑧

羽立北野尋常小学校創立

明治三十七年(一九〇四)、天王尋常高等小学校に統合された羽立尋常小学校、二田尋常小学校の校舎は、合併後も分教場として使用されていた。しかし、大正十三年(一九一四)七月の村議会上に上程された「校舎新築ノ件」の諮問案に「羽立分教場ノ如キハ目下、大破損ヲ来タシ殆ンド危険ノ状態ニ瀕セリ」とあるような状態であり、翌十四年六月に羽立と二田の両分教場を統合した羽立北野尋常小学校の校舎新築が許可された。

「創立北野尋常小学校ハ已ニ新築認可ヲ受ケタルモ不幸ニシテ財源ニ支障ヲ来タシ在昔今日ニ至レルハ甚タ遺憾トスル処ナリ」教育ノ道ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ今ヤ応急ノ手段トシテ二部教授ノ方法ヲ講シ居ルモ是レ元ヨリ変則ノ際ニ在テテ授業上殆ンド不可能ナリ(大正十五年五月提出の諮問案)と言う訳であるが、なにしる財政難。二度の入札失敗の後、当初の予定価格二万七千円で、武田甚五郎なる者が契約し、羽立北野の地に起工したのは同十五年の十一月下旬のことであった。

翌年(昭和二年)に完成した校舎は、体育館を併設した二階建のモダンなものであり教員室、教室等十一の部屋があった。

初代校長は、天王本郷出身の沼田藤七先生(故人)であり、創立当初は、三人の男性の訓導、二人の女性の代用教員で、塩口、渋谷、中羽立、羽立、大崎、二田の各地域から通学して来る一年生から六年生までの約三百名の子どもの指導に当たっていた。

(石川)

うるおいある 町づくりを 目指して

建設事業急ピッチで進む

建設のつち音も高らかに

菊の香りがほのかにただよい日一日と秋が深まっています。住みよい町づくりを基本にスタートした今年度も残すところあと五カ月。町の建設事業も正念場を迎え、いま急ピッチで工事が進められています。

保育園では、子どもたちが毎日元気に歓声をあげています。待望の町立図書館や農村婦人の家、追分地区公園野球場、町営住宅、出戸浜いこいの森(仮称)の管理棟など、ほとんどの工事がそれぞれ十一月、十一月いっぱいまで完成します。新しい時代に対応した人間づくりを目指して、活力ある天王町建設のつち音が高らかに響いています。



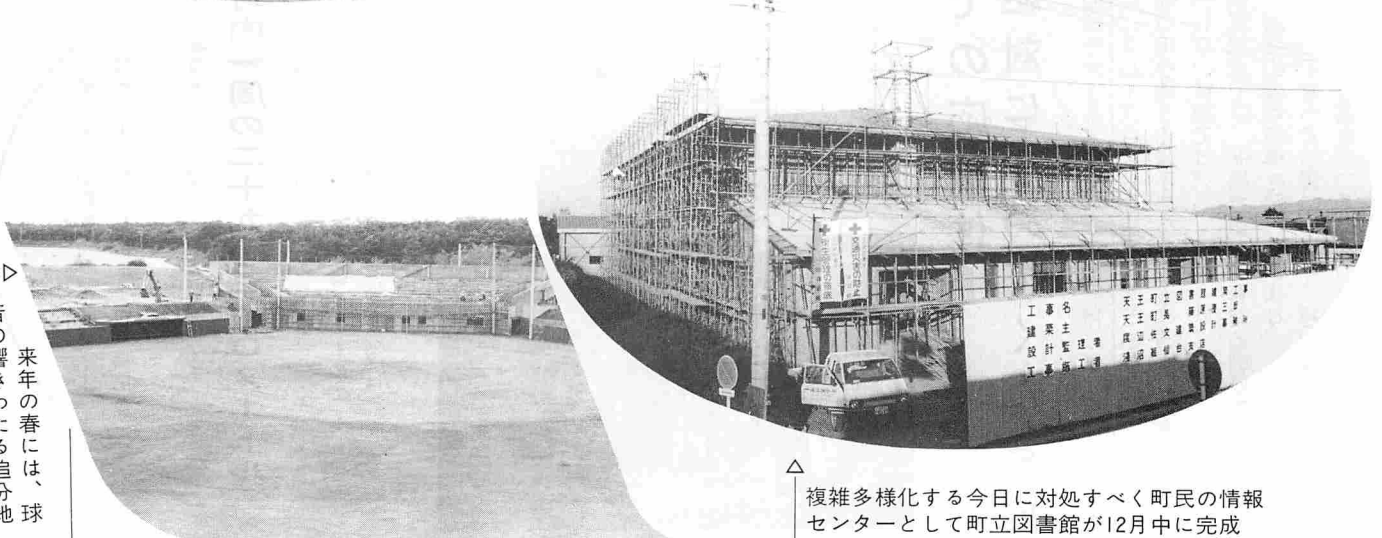
△ 天王町、昭和町、飯田川町の三町で建設が進められている湖南地区衛生処理センター



▷ 二田地区に建設が進められている農村婦人の家は、十一月中に完成



◁ 町民のやすらぎの場「出戸浜いこいの森」の管理棟



▷ 来年の春には、球音の響きわたる追分地区公園(野球場)

△ 複雑多様化する今日に対処すべく町民の情報センターとして町立図書館が12月中に完成

飲酒運転追放は みんなの願い

全県で六番目に 多い違反者



本町の飲酒運転違反者は、五人になっています。今年一月から八月までで二十

これは、全県六十九市町村

中六番目に

飲酒運転違反で検挙された人が多
いことを示
しています

最近、特に新聞紙上等でも本町住民の飲酒運転違反者が報知されています。

飲酒運転は、絶対しないようお互いに注意し合いましょう。

「お酒を飲んだら運転しない、運転する時はお酒を飲まない、飲ませない」の三
ない運動を家庭や職場のみならず、飲食店や地域の行事、会合などでも申し合わせをして、少なくとも本町住民からは、飲酒運転違反者を絶対出さないようにしたいものです。

統計からみる町のうごき(3)

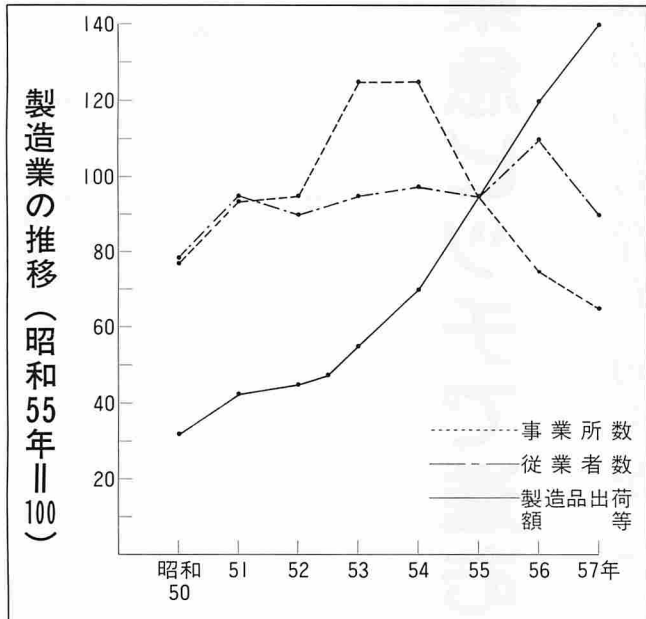
本町の工業概況

今号では、先に県が独自に集計した昭和五十七年工業統計調査結果速報から、本町の工業概況をひろってみました。

この工業統計は、毎年十二月三十一日現在で実施され、従業者数四人以上の製造業の事業所について集計したものです。

これによると、本町の事業所数は二十八ヶ所、従業者数は一、五三一人、製造品出荷額は二百五十億三百四十四万円となっており、これを前年

と比較しますと、事業所数は一三%減少し、従業者数でも一二・二%減少、製造品出荷額は、二四・九%の増となっています。



九千三百八十四億円の二・二%の増となっています。

町制施行記念駅伝大会

11月3日に

地域の精鋭が健脚を競う

車での応援は 絶対にやめてください

年々盛会をきす本大会ですが、最近特に車に乗つての応援者が多く、スムーズな大会運営に支障をきたしています。力の限り走り続ける選手たちも往來する車に気を使わないではられない状態です。

特に引継地点では、係員が車を誘導するのに大わらわとなり、一触即発の混雑模様を呈しています。

事故が起きてからでは遅いのです。各地域の方々にとつて自チームがどの位置を走っているのか大変気になるころですが、車での応援は絶対やめるようにしてください。



第三十二回町制施行記念駅伝大会が、十一月三日午前十時役場前をスタートします。

健康なからだと望ましい人間関係をつくること

町内一周の二十九・三キロメートル

①とをねらいに、町内一周の二十九・三キロメートル(十四区間)を走破するものです。

各チームの精鋭が地元通過の際は、盛大な声援をおくってください。

南秋中学校秋季大会

サッカー 剣道(男子)優勝に輝く

●●● 各種目に健闘

来年に大きく期待 ●●●



南秋で敵なしの
サッカーイレブン

南秋田郡中学校秋季大会が九月二十八日、二十九日の両日、南秋の各中学校、町施設を会場に行われた。

今大会は、二年生を中心とした新人戦であり、いわば来年夏の大会に向けての試金石ともいべきもの。

天王中学校は、日頃の練習成果を随所に発揮し、各種目に好成績を収めた。

特に、創立四年目を迎えた剣道では、男子が初優勝、女子が準優勝に輝くなど大いに気をはいた。個人戦でも鎌田久選手が並ぶ強豪を倒して優勝した。

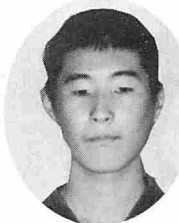
また伝統のサッカーは、潟西中、羽城中を寄せつけず「天王強し」の感を与え圧勝。

その他の種目においても、上位進出が目立ち、今後の活躍が大いに期待される大会であった



4年目にして
初優勝に輝いた剣道男子チーム

成績は次のとおり



個人優勝の鎌田久選手

- ▽剣道
 - 団体戦(男子) 優勝
 - 〃(女子) 準優勝
 - 個人戦(男子) 優勝 鎌田久
 - 〃(女子) 準優勝 桜庭樹実子
- ▽サッカー
 - 第三位 伊藤百合子
 - 優勝
- ▽相撲
 - 準優勝
 - 団体戦 準優勝
 - 個人戦(一年の部) 準優勝 浅野 幸一
- ▽卓球
 - 第三位 五十嵐嘉広
- ▽バレーボール(男子)
 - 第三位
- ▽陸上
 - 男子総合 第三位
 - 女子総合 第三位

出戸小が

学校給食優良校に

食堂方式をとり入れ



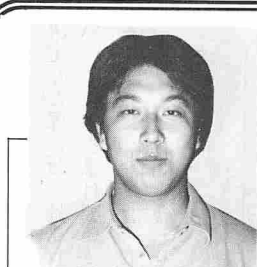
給食当番の配膳で楽しい会食

「学校給食に楽しさと豊かさ」をテーマに県学校給食研究協議会が、八月十七日日本荘市の本荘文化会館を会場に開かれ、本町の出戸小学校が昭和五十八年度学校給食優良校として表彰された。

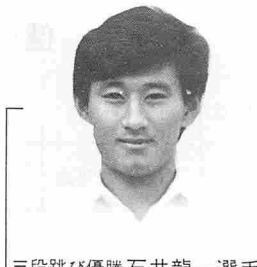
出戸小は、昭和五十五年十二月に本町では唯一の給食室を備えた新校舎が完成。

広さ四百三十平方メートルの給食室では、二年生から六年生までの全児童が一堂に会して食堂方式により、お互いに交流を深め合いながら会食和気あいあいのにぎやかさをおりなしている。地域別に高学年と低学年を組み合わせて基本的な食事マナーを身につけさせたり各種の発表会なども開催している。

安田亀松校長は「心豊かで思いやりのある子どもを育てるといふ基本目標にそって、これからも学校給食の先べんの役割を任せていきたい」と語っていた。



砲丸投げ優勝安東幸一選手



三段跳び優勝石井龍一選手



五千メートル準優勝 伽羅谷豊欽選手

健闘を誓う三選手

11月3日から

全国青年体育文化祭

十一月三日から開催される全国青年体育文化祭に、本町連合青年会(会長安東一己)から、陸上の部砲丸投げで優勝した

この大会は、勤労青年が体育文化活動を通じて、青年の連帯感を強め、平和で豊かな郷土社会を築こうとして行われ、総合八位の好成績を収め、総合八位の好成績を収めるなど大いに健闘し、天王町の名を全県下に高らしめた。

この原動力となったのが、全県下の強豪を押さえ、見事全国大会へのキップを手にした三選手の活躍。国立

追分)、それに五千メートルで準優勝に輝いた伽羅谷豊欽選手(二田)の三名が県代表として出場する。

先に行われた県予選で町連合青年会は、陸上ほか卓球、バスケットなど五種目に出場

競技場で開催される全国大会にむけて、三選手は連日猛練習に励んでおり、その活躍が大いに期待される。

わたしと天王町

ここに住む私たちが…



江川 藤原千津子

山本郡八竜町産の私にとつて天王町は、まるで知らない未知の土地でした。

それが縁あって天王町に嫁いで、足かけ四年になろうとしています。

農業と漁業を営む我が家にあつて、私は全くの一年生。農業に関しては、最近になつて、ようやくその喜びを理解

できるようになりました。もつとも、みんな機械化されていく近代農業の中で、私などは端から見たら遊んでいるくらいにしか見えないのかも知れませんが……。

一方、漁業に関しては、まるで私には関係のないもののようにです。どこでどう行われ網がどうなつていて、どうし

たら魚が入るかなどの知識については、まるで赤ちゃんと同じです。

ただ、農業について感じることは、一部では有機農業が叫ばれている中、余りに農薬を多く使わずに育てるのではと懸念しています。

いずれにしても、これから両親や夫の手助けをしながら自分なりに農業や漁業について理解を深めていきたいものと考えています。

天王町は各分野において、とても活気があるように思われます。町ではスポーツ施設だけにとどまらず、図書館建設にも見られるように、文化面にも力を注いでいます

あとはそこに住む私たちがどう利用し、毎日の生活を高めていくかにあると思います。

幼い子供をもつ一人の母親として、なによりもありがたいたと思ふことは、救急病院があることです。この子らの将来のためにも、明るく住みよい町であつてほしいと願っています。

町営住宅の入居者を募集



△快適な生活環境の整った町営住宅

「緑の豊かなゆとりある生活環境の整備」を基本的施策のひとつとする町では今年度一向団地に建設中の町営住宅八戸の入居者と合わせて、一向団地塩口北野団地の空家住宅について、次のとおり入居募集します

- 家賃……一万六千円 一戸 一万九千円 八戸
 - 家賃……七千五百円 一戸 八千五百円 一戸
 - 家賃……八千円 四戸
 - 家賃……二万八千円 一戸
 - 家賃……一万八千円 一戸
- 入居資格は、町内に居住、もしくは勤務している人で、同居する親族がいることなっています。
- 入居希望者は、役場建設課備え付けの入居申し込み用紙

国税だより

税金は社会共通の「経費」です

「より安定した豊かな生活を」という私たちの願いを実現するため、税金はいろいろな分野に使われています。道路や下水道の整備をはじめ、社会福祉、教育などなど。

税金は、国や地方公共団体が活動するための大切な財源です。私たちが生活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえるでしょう。

このように重要な役割を果たしている税金について、納税者の方だけでなく広く国民の皆さんに税を正しく理解し認識していただけるよう、今年も十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」が行われます

この機会に、私たちの納めた税金がどのように使われ、どのような形で生活の向上と安定に役立っているのか、など、税についての理解を深めたいものです。

健診と予防接種の日程表

月日	健診名	対象	受付時間	会場
11/1	1歳半児健診	S57. 4月生	12:30~13:00	天王町公民館
11/8	7ヵ月児健診	S58. 4月生	12:30~13:00	二田地区ことぶき荘
11/15	4ヵ月児健診	S58. 7月生	12:30~13:00	天王町公民館
11/22	三種混合	第1期生後24ヵ月~48ヵ月の間に3回第1期接種済者で接種後12ヵ月~18ヵ月に至る者	12:30~12:50	追分分館
11/29			12:30~12:50	老人いこいの家(出戸地区ことぶき荘)
12/6			12:30~12:50	天王町公民館
12/13			12:30~12:50	天王分館

59県民手帳のご利用を

予約受付中

あなたのポケットにぜひ1冊を!

ご希望の方は、11月末日までに役場企画室に申し込みください。(価格300円)

ふるさとペンリレー

大都会を全力疾走

上村 春 男
(二田出身)

魔の5月26日秋田沖大地震の災害に遭われた方々に對し、心からお見舞い申し上げます。災害復旧については全力投入され順調に修復している



ことと推察いたします。

私は、二田二区の出身で昭和30年にふるさと天王町をあとにして以来、28年間川崎市所在の東芝マンです。

「ふるさと天王」の思い出では第1回町制施行記念駅伝大会に参加できたことがついこの間のことのように感じられます。

生まれ育った郷土の土を愛し、上京以来天王町のゼッケンを胸に大都会の中で全力疾走してきました。

横浜市金沢八景での生活も18年を数えます。近くには古都・鎌倉があり源頼朝によって幕府の開かれた日本の政治・文化の中心をなす武士の町です。

名所古跡も多く風光明媚な所として社会の急速な進歩とともに文化もいっしょに向上している所在地です。

広報てんのうを拝見して感じる事は、スポーツ、教育、産業、文化の各方面に目ざましい発展をとげていることはひとえに藤原町長を中心とした町民一人ひとりの強力なスクラムとチームプレーの賜物と思えます。

私も「ふるさと天王」を誇りとして、これからの人生をくいのないよう力強く歩んでいきたいものと思っております。

最後に、活力ある天王町の益々の発展を心から願ってやみません。

秋田天王総合高等職業訓練校では、昭和五十九年度訓練生を次のとおり募集します。



「みてくれ、このフットワーク」元気がいいに好試合を演じる参加者

全町テニス大会 秋の空に歓声響く 白球のゆくえに一喜一憂

第九回天王町テニス大会が休育の日の十月十日、塩口北野町庭球場を会場に行われた。当日は、心配された天候もカラリと晴れ上がった絶好のスポーツ日和に恵まれ、参加した各選手は、秋の空いっぱい歓声を響かせていた。

- 優勝 森一重・菊地しのぶ組 一般女子30歳以上
- 優勝 長谷部ユリ子・三浦悦子組
- 優勝 吉田浩典・近藤浩組 一般男子35歳未満
- 優勝 菊地功・佐々木悦郎組 一般女子30歳未満
- 優勝 森一重・菊地しのぶ組 一般女子30歳以上
- 優勝 長谷部ユリ子・三浦悦子組

今大会には、男子十二チーム、女子十チームが参加し、リーグ戦形式で試合が進められた。男子の部では、前年度優勝の吉田・近藤組が軽快なフットワークとうまいコンビネーションプレーで他チームをしりぞけて優勝。また女子の部では、森・菊地組がサーブ・レシーブなどにテニス歴のキャリアをうかがわせ接戦の末勝利をものにした。

防火の点検は

はじまり しめくくり
11月6日から12日まで

十一月六日(日)から十一月十二日(土)まで「秋の火災予防運動」の期間です。今年「点検は防火のはじまり、しめくくり」を統一標語に一週間、火災予防運動が行われます。年末を控え、なにかとあわただしく、ストーブなど火の気を使う機会も多くなります。気持を引きしめましょう。

- ◎ 火災予防期間中、午前六時と午後七時に、消防サイレンが吹鳴されます。
- ◎ 糞殻焼きによる火災やスモックが発生しています。糞殻は焼かないようお願いいたします。

職業訓練生を募集

秋田天王総合高等職業訓練校では、昭和五十九年度訓練生を次のとおり募集します。

- 短歌 羽立 安田 ツル
- 追分西 藤井 智恵
- 二田 村井 広子
- 江川 藤原キミエ
- 二田 菊地 栄子
- 羽立 石川 レン
- 追分 安田 鹿山
- 追分西 鶴谷 トシ
- 塩口 桜庭 慧子
- 二田 薄田 岳峰
- 塩口 桜庭 龍一
- 大崎 吉田 義雄
- 二田 渡部 ツナ
- 江川 伊藤 昭光

若い肌化粧で隠して背伸びする
風の絵を描き少女は風が好き
二田 渡部 ツナ
玄関の花の草履にうかぶ顔
江川 伊藤 昭光
思春期が二度目の母を遠ざける

国民年金

保険料の未納はありませんか

出かせぎシーズン
を迎え、毎年、今頃
の時期になると、国
民年金から厚生年金
に加入する方がいま
す。

そこで気をつけたいのが、
国民年金と厚生年金との係わ
りです。

で国民年金の受給資格を喪失
することになり、二重加入は

がら、国民年金と二重に保険
料を納めている方が見られま
した。
今は、ほとんどの会社で厚
生年金の適用を受けていま



できません。

それにもかかわらず、いま
での例では、出かせぎ先の会
社で厚生年金に加入していな

しかし、中には適用されて
いない会社もありますので、
出かせぎ前には必ず、その加
入状況を確認しましょう。

それと同時に、国民年金の
保険料納付状況もチェックし
て、役場に届出をしてくださ
い。

保険料未納のまま、厚生年
金に加入した場合には、病気
やけがで障害者になったとき
などに障害年金を受けられな
いこともあります。

不慮の事故等に備えて、通
算老齢年金はもちろんのこと
国民年金の保険料は、必ず納
めてから出かけるようにしましょう。

慶弔だより

お誕生おめでとう 九月中

お二人の前途を祝福します

二田	佐藤	紀久雄
北野	伊藤	五十鈴
長沼	畑澤	五十鈴
羽立	菅生	周子
松	鈴木	美喜雄
道合	鎌田	一春
羽立	嶋崎	楓子
上江川	伊藤	彰文
天王	榎木	圭忠

昭和田	菅原	兼成
羽立	安田	日出子
北野	古山	弘
岐阜県	杉山	秀子
河辺町	二木	好茂
二田	佐々木	好昭
男鹿市	佐々木	勝昭
羽立北野	笈川	春代
野沢	三浦	隆悦
秋田市	相場	由美子

野沢	三浦	誠一
上江川	藤原	悦美
盛岡市	藤村	惣助
長沼	鳥井	五生子
上江川	三浦	一憲
雄和町	福原	博子
ハラヘ	進藤	康朗
湯沢市	泉	文子
羽立	西村	栄悦
神岡町	佐藤	恵美子
天王	越後	清美
天王	越後	清美
上小阿仁村	山形	和夫
鷹巣町	岩本	妙子
秋立北野	斎藤	英司
秋田市	保坂	千秋
三枚橋下	菅原	秀雄
秋田市	小田	智子
野沢	三浦	勝美
秋田市	伊藤	加代子

三枚橋下	菅原	直65才
蒲沼	藤原	タマ66才
天王	金子	ハナ72才
北野	石田	悦子35才
江川	北林	千代治75才
道合	金子	金之助63才
天王	石川	軍治83才
蒲沼	伊東	よし77才

おくやみ申し上げます

このたび、次の方々から善
意が寄せられました。
〈町社会福祉協議会には〉
○ 天王字天王一六の石川若
雄さんより、父軍治さん死
亡の際の香典返しとして、
金三万円
〈町育英会に〉
○ 神奈川県横浜市金沢区高
舟台一―二―二五の上村
春男さんより、志として、
金一万円。
どうもありがとうございました。

短歌大会の

お知らせ

第九回天王町短歌大会を次
により行います。

とき……………十二月四日(日)
午前十時三十分

ところ……………天王町公民館

○ 作品……………当季雑詠一首

○ 講師……………近藤貢太郎氏

(秋田高校教諭)

○ 特定選者……………五名

俳句「粗朶」(11月)

渡部六愁

夕ちろろロシヤ民謡くちずさむ
西から晴れ西から崩れ弱雲
柿真ッ赤み仏けの森暮れんとす
芋嵐鎌の切れ味指で見る
萩こぼれ女ころの隙間見る
江葉山清流で旅の口すすぐ
粗朶一本たして落葉火昂ぶらす

不用犬の回収

不用犬の回収を次により行
います。

回収日時

十一月二十九日(火)・午前
八時三〇分から九時まで

受付場所

役場窓口に印鑑持参の上

おいでください。

第7次漁業センサスにご協力を

五年に一回
実施される第
七次漁業セン
サスが、十一
月一日から始
まります。
この調査は
わが国の海面
及び内水面漁
業の実態を明
らかにし、こ
れからの水産
業施策の基礎
資料として広
く利用される
ものです。

十一月一日から十五日頃ま
でに調査員が、漁業を営んで
いる世帯や漁業に従事してい
る人を対象に訪問し、聞きと
りによって調査しますので、
ご協力くださるようお願いし
ます。

上沖中谷地	吉田	靖彦
北野	宮本	光雄
羽立	鈴木	廣夫
児玉	菊地	伸逸
北野	栗山	勇介
長沼	館岡	めぐみ
北野	船橋	かすみ
北野	船橋	義人
蒲沼	鎌田	清一郎
北野	熊田	文雄
塩口	米谷	幸雄
長女	米谷	裕子

野沢	三浦	誠一
上江川	藤原	悦美
盛岡市	藤村	惣助
長沼	鳥井	五生子
上江川	三浦	一憲
雄和町	福原	博子
ハラヘ	進藤	康朗
湯沢市	泉	文子
羽立	西村	栄悦
神岡町	佐藤	恵美子
天王	越後	清美
天王	越後	清美
上小阿仁村	山形	和夫
鷹巣町	岩本	妙子
秋立北野	斎藤	英司
秋田市	保坂	千秋
三枚橋下	菅原	秀雄
秋田市	小田	智子
野沢	三浦	勝美
秋田市	伊藤	加代子

このたび、次の方々から善
意が寄せられました。
〈町社会福祉協議会には〉
○ 天王字天王一六の石川若
雄さんより、父軍治さん死
亡の際の香典返しとして、
金三万円
〈町育英会に〉
○ 神奈川県横浜市金沢区高
舟台一―二―二五の上村
春男さんより、志として、
金一万円。
どうもありがとうございました。